

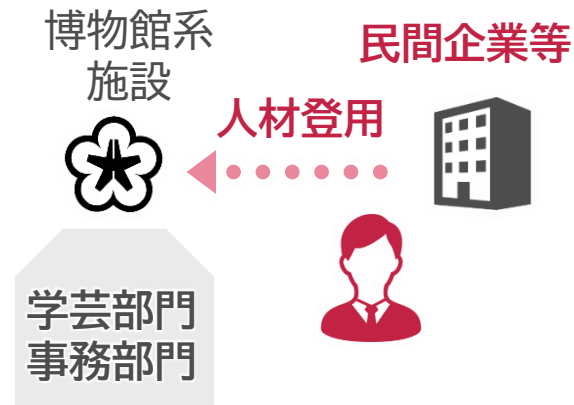
漫画ミュージアム 部会における検討結果について

《現在の雇用形態での移行イメージ》

直営における導入例

①民間人材の登用

館の運営事務局に、経営感覚や集客、サービス向上等のノウハウを持った民間人材を登用し、経営視点・民間活力等の導入を図る



- 【市正規職員】
- ・学芸担当係長
 - ・広報を除く事務職員
(施設運営、総務会計等)
- 【市会計年度職員】
- ・学芸員・図書職員

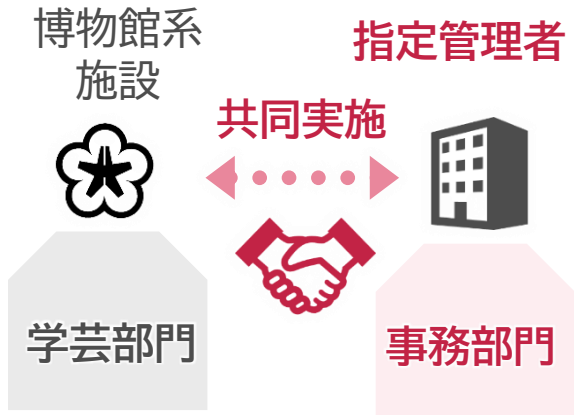
- 【民間企業】例
- ・広報集客の
専門人材

- ・ 広報集客の専門人材を民間企業から派遣して強化
- ・ そのほかの全職員は現在の雇用形態を維持

指定管理者制度における導入例

②業務分担方式

社会教育機能のメインである学芸機能は市直営とし、集客や施設運営などの事務機能に指定管理者制度を導入する



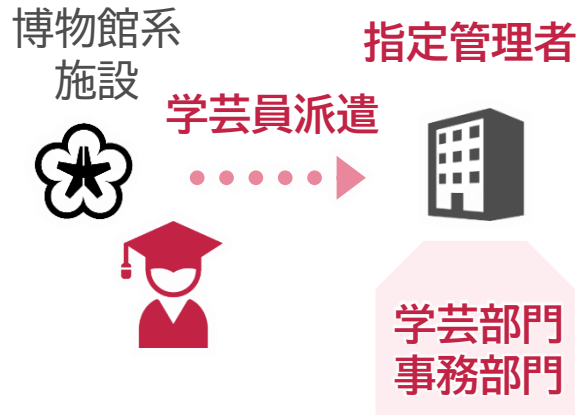
- 【市正規職員】
- ・学芸担当係長
- 【市会計年度職員】
- ・学芸員・図書職員

- 【指定管理者】
- ・全事務職員
(施設運営・総務会計・広報等)

- ・ 学芸担当係長は市正規職員、学芸員と図書職員は市会計年度職員を維持
- ・ 事務職員は全員指定管理者の雇用

③市学芸員派遣方式

全面的に指定管理者制度を導入し、市の学芸員を指定管理者に派遣することで、社会教育機能の維持・向上させる



- 【市正規職員】
- ・学芸担当係長

- 【指定管理者】
- ・全事務職員
(施設運営・総務会計・広報等)
 - ・学芸員・図書職員

- ・ 学芸担当係長のみ市正規職員を維持、全事務職員に加え、学芸員と図書職員は指定管理者雇用へ

		A サービス面、広報・集客面	B 組織・人事面	C コスト・予算・収支面	D 展覧会やイベントなどの企画と実施	E 作家や出版社など著作権者との関係	F 設置団体との関係
漫画ミュージアム	重要視する点 期待する点	市及び柔軟性のある広報媒体 広報・集客の専門的知見 インバウンド客の誘致	継続的雇用・安定性の確保 柔軟な人員配置	中長期的計画 予算の継続的確保	市の施設・市職員の信頼性 社会教育機能・研究機能の維持	市の施設・市職員の信頼性 継続的な関係の維持・構築	幅広い市部署との連携
	課題	市会計事務の煩雑さ インバウンド客への発信	専門的（学芸・図書）人材の不安定雇用 市職員の異動に伴う事務の継続性	単年度予算主義 収入連動型予算ではない 収支改善	専門的人材の不安定雇用から 生じる不安定性	専門的人材の流出による関係性の喪失リスク	持続可能な運営体制
直営	①民間人材登用 (例:広報人材)	メリット 市広報媒体○ 広報・集客の専門的知見○ インバウンド客の誘致（発信）○	市職員の異動に伴う事務の継続性 (民間人材のみ○)	予算の継続的確保○ 収支改善△	市の施設・市職員の信頼性○ 社会教育機能・研究機能の維持○	市の施設・市職員の信頼性○ 継続的な関係の維持・構築○	幅広い市部署との連携○
		デメリット 柔軟な広報媒体× 市会計事務の煩雑さ×	継続的雇用・安定性の確保× 柔軟な人員配置× 市職員の異動に伴う事務の継続性×	中長期的計画× 単年度予算主義× 収入連動型予算×	専門的人材の不安定雇用から 生じる不安定性×	専門的人材の流出による関係性の喪失リスク×	持続可能な運営体制△
指定管理	②業務分担方式 学芸部門 ⇒市職員 事務部門 ⇒指定管理	メリット 柔軟性のある広報媒体○ 広報・集客の専門的知見○ インバウンド客の誘致（発信）○	市職員の異動に伴う事務の継続性○ 柔軟な人員配置△（指定管理者側）	中長期的計画△（業者選定方式による） 単年度予算主義△ 収入連動型予算△ 収支改善○	市の施設・市職員の信頼性○ (業務分担の方式による)	市の施設・市職員の信頼性△ 継続的な関係の維持・構築△ (業者選定に工夫が必要)	持続可能な運営体制△
		デメリット 市会計事務の煩雑さ× 市広報媒体△	継続的雇用・安定性の確保× 専門的（学芸・図書）人材の不安定雇用×	予算の継続的確保△ 単年度予算主義△ 収入連動型予算△	社会教育機能・研究機能の維持△（指定管理者への指導・監督が必要） 専門的人材の不安定雇用から 生じる不安定性× 意思決定の複雑化×	専門的人材の流出による関係性の喪失リスク× 意思決定の複雑化×	幅広い市部署との連携△
	③市学芸員 派遣方式 学芸/事務部門 ⇒指定管理 市から学芸員を派遣	メリット 柔軟性のある広報媒体○ 広報・集客の専門的知見○ インバウンド客の誘致（発信）○ 市会計事務の煩雑さの解消○	継続的雇用・安定性の確保○→△ (業者選定方法による。更新時に指定管理者が変更した場合は×) 柔軟な人員配置○ 専門的（学芸・図書）人材の不安定雇用の解消○ 市職員の異動に伴う事務の継続性○	中長期的計画△（業者選定方式による） 単年度予算主義の解消○ 収入連動型予算○ 収支改善○	専門的人材の不安定雇用から 生じる不安定性の解消○ 市の施設・市職員の信頼性△	専門的人材の流出による関係性の喪失リスク解消○	持続可能な運営体制○ →△（業者選定方法による）
		デメリット 市広報媒体△	市派遣職員への事務負担× 待遇面の低下リスク×	予算の継続的確保△	社会教育機能・研究機能の維持△（指定管理者への指導・監督が必要）	市の施設・市職員の信頼性△ 継続的な関係の維持・構築△ (業者選定に工夫が必要)	幅広い市部署との連携×→△（×とは限らない）
漫画ミュージアムに最適な運営形態		②と③にほぼ同等の優位性	②で市会計年度職員の正規化転換の可能性が薄いならば、継続的雇用の確保の可能性が高い③に優位性	収入連動型予算のメリットにより③に優位性	現状の意思決定プロセスを考えると②より③に優位性 指定管理者選定の仕組みは長期間かつ非公募が望ましい	持続可能な運営体制が維持されるのであれば②より③に優位性	
全体的に①は現状とさほど大きな変化がなく、ほとんどの課題解決が図れないことから移行するメリットが薄い							

前回までの結論

概ね②業務分担方式と③市学芸員派遣方式の指定管理がベターな選択肢であるが、民間の受け皿や市の体制も含めて、ミッションの達成に効果的な手法を検討

漫画ミュージアムへの指定管理者制度導入に望ましい仕組みの検討

機能	A サービス面、 広報・集客面	B 組織・人事面	C コスト・ 予算・収支面	D 展覧会イベント 等の企画と実施	E 作家など著作 権者との関係	F 設置団体との 関係
期待する点 重要視する点	①市及び柔軟性のある広報媒体 ②広報・集客の専門的知見 ③インバウンド客の誘致	①継続的雇用・安定性の確保 ②柔軟な人員配置	①中長期的計画 ②予算の継続的確保	①市の施設・市職員の信頼性 ②社会教育機能・研究機能の維持	①市の施設・市職員の信頼性 ②継続的な関係の維持・構築	①幅広い市部署との連携
課題	①市会計事務の煩雑さ ②インバウンド客への発信	①専門的(学芸・図書)人材の不安定雇用 ②市職員の異動に伴う事務の継続性	①単年度予算主義 ②収入連動型予算ではない ③収支改善	①専門的人材の不安定雇用から生じる不安定性	①専門的人材の流出による関係性の喪失リスク	①持続可能な運営体制
運営形態 最適な	「②業務分担方式」と「③市学芸員派遣方式」に ほぼ同等	「②業務分担方式」で市会計年度職員の正規化が困難な場合、継続的雇用の可能性が高い「③市学芸員派遣方式」に優位性	収入連動型予算のメリットにより「③市学芸員派遣方式」に優位性	現状の意思決定プロセスを考えると「③市学芸員派遣方式」に優位性 指定管理者選定の仕組みは 長期間かつ非公募 が望ましい		持続可能な運営体制が維持されるのであれば「③市学芸員派遣方式」に優位性

機能	A	B	C	D/E	F
望ましい仕組み リスク低減手法	①広報・集客面への民間ノウハウの活用 ②効率的な会計制度の導入	①良好な職場環境の構築 ②専門的(学芸・図書)人材の重要性と研究推進に理解のある指定管理者	①安定的な指定管理料 ②収入連動型(利用料金制)予算の導入 ③長期間の指定管理期間	①専門的人材の継続性確保のために、指定管理者選定の仕組みは長期間かつ、使命の達成に向けた有効性を重視した選定が望ましい ②著作権者や全国の漫画文化施設との関係性維持のために、漫画業界等に理解のある指定管理者が望ましい	①北九州市の地域性に理解のある指定管理者が望ましい ②市と指定管理者が連携して市民のために協働できる体制構築が必要

漫画ミュージアム運営検討部会の意見

運営手法 見直しの 方向性

- 北九州市漫画ミュージアムがその使命を果たし、
② より一層市民に愛される施設となるための、
持続可能な運営体制は「**指定管理制度の導入**」が望ましい

○ 指定管理制度の導入にあたって、望ましい仕組み・留意点

対象	概要
指定管理者	<ul style="list-style-type: none">①社会教育機能の重要性や、漫画の著作権者、漫画業界、他の漫画施設との関係の継続性に鑑みて、学芸員及び図書職員の専門性を重視し、その研究推進に理解の高い指定管理者による長期的な運営体制であること②広報・集客・コミュニケーションの場づくり、会計事務等に民間経営ノウハウを効果的に活用すること③指定管理者は職員の安定雇用や良好な職場環境の構築に努めること
選定	<ul style="list-style-type: none">①安定的な指定管理料を確保し、使命達成に向けた取り組みや利用者の満足向上を重視した指定管理者の選定を行うこと②選定委員は漫画文化の特性や文化施設の使命に関する学術的専門性に即して人選すること
仕組み	<ul style="list-style-type: none">①指定管理者の創意工夫や経営努力が報われ、来館者サービスの向上やまちの魅力づくりなどへの好循環が生まれる仕組みであること②市と指定管理者が連携して市民のために協働できる体制を構築すること

上記の意見を踏まえ、「指定管理者制度を導入する範囲や、市と指定管理者の役割分担について、施設の公益性と運営の効率性の双方に鑑みたあり方を十分検討のうえ決定すること」

『漫画ミュージアムは以下の使命を持っている』

- ① 地元ゆかりの漫画家を中心に、幅広く漫画作品と関連資料を収集・保存し、漫画の特性や魅力、およびそれをどのように伝えていくかなどの研究を行う。
- ② 研究成果を展示や閲覧等に活かし、子どもから大人まで、幅広い世代のコミュニケーションの場となることで、まちの魅力づくり、賑わいの創出に寄与する。
- ③ 漫画の持つ魅力や特性を次世代に継承するという、人材育成、文化振興の一翼を担う。